

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
引佐	19	花、果樹、野菜農家、高齢化、担い手の栽培量増加、世代交代、面的な土地改良	R5.3.31
引佐	19	耕作放棄地にならないための制度や仕組み、水の確保	R5.3.31
引佐	19	鳥獣害が多い、集落の情報集め(JA)	R5.3.31
引佐	19	農業用水老朽化維持管理、畑かん利用推進	R5.3.31
引佐	19	人→高齢化、農地→基盤整備→省力化→耕作者増。作りやすいところで生産	R5.3.31
引佐	19	集落ごとの話し合いが必要	R5.3.31
引佐	19	大規模な基盤整備、担い手のフォロー、就農者への支援	R5.3.31
引佐	19	従事者→高齢化、狭い園地が多い→集積→大規模基盤整備	R5.3.31
引佐	19	集積→基盤整備→利用、耕作しやすい園地へ	R5.3.31
引佐	19	花に関する補助が少ない	R5.3.31
引佐	19	地域のコミュニケーション	R5.3.31
引佐	19	条件の悪い農地が多い→放棄地→基盤整備→営農者へ貸す	R5.3.31
引佐	19	戦略畑総→今はやっていない→似たような事業はある、水田→畑化→全体で5町歩集まれば	R5.3.31
引佐	19	条件が悪い農地(草刈、トラックは入れない)	R5.3.31
引佐	19	借りた農地の造成→境界が分からなくなる(地主)→造成が進まない(耕作者)	R5.3.31
引佐	19	農業従事者は高齢者が多いので今後は心配(農地の荒廃)	R5.3.31
引佐	19	やる気のある若手に魅力のある職業にしたい	R5.3.31
引佐	19	栽培面積が狭い農地が多いので園地集積したい	R5.3.31
引佐	19	水田の耕作放棄地を集約する	R5.3.31
引佐	19	水田→畑(5ha以上)	R5.3.31
引佐	19	就農前からのフォロー、情報提供(就農予定者)	R5.3.31
引佐	19	大規模平坦農地造成分割活用	R5.3.31
引佐	19	認定農業者を目指す農業者へのフォロー	R5.3.31
引佐	19	後継者、新規就農者、農業関係人口を増やすこと	R5.3.31
引佐	19	団塊世代がいなくなった後の水田の水路管理	R5.3.31
引佐	19	農業を続ける田畑とやめる田畑の区分け	R5.3.31
引佐	19	末端農家レベルの話し合い	R5.3.31
引佐	19	農地が分散しているために作業性が悪い	R5.3.31
引佐	19	まとまった農地が欲しい	R5.3.31
引佐	19	耕作放棄地となる前に他の人に任せられるようにする流れを作る(耕作者がなくなったタイミングでの引継ぎ)	R5.3.31
引佐	19	農地を持っているが農業者ではない人も話し合いに参加すれば話は進むのではないか。	R5.3.31
引佐	19	農地を借りたくても所有者が県外にいるため話がスムーズにいかない	R5.3.31
引佐	19	交代をスムーズにする、食料自給率維持、鳥獣害拡大、畑まとまってない	R5.3.31
引佐	19	水路がない、就農前からの情報提供、水路などの管理、農業用水の継続利用、省力化	R5.3.31
引佐	19	鳥獣害対策	R5.3.31
引佐	19	空き水田の有効活用	R5.3.31
引佐	19	集落毎の離農、増反情報共有	R5.3.31
引佐	19	新規就農者の受け入れ、引き継ぎ	R5.3.31
引佐	19	農作業の省力化	R5.3.31
引佐	19	認定農業者、平坦地を増やす、就農前からのフォロー	R5.3.31
引佐	19	農地の分散、排水路が少ない、園地の集積	R5.3.31
引佐	19	農業用水の有効利用、園地が小さくトラックが入らない	R5.3.31
引佐	19	集落毎の話し合いの場を作る、コミュニケーション不足、会社勤めの方の農業への道すじ	R5.3.31
引佐	19	農業用水が受益できている畑地は是非耕作利用して農業用水を使ってほしい。	R5.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
引佐	19	担い手をつくれるような、利便性が向上できるよう用水施設の維持管理を行っていく	R5.3.31
引佐	19	県、市の指導や力も借りて受益者の利用を満足させるよう努める	R5.3.31
引佐	19	農地をもっている人(農地所有者)と、もっていない人(耕作者)の話し合い(集落ごと)	R5.3.31
引佐	19	世代交代をスムーズにしていく	R5.3.31
引佐	19	耕作放棄地の増大(相続関係が多い)	R5.3.31
引佐	19	耕作者の高齢化	R5.3.31
引佐	19	畑間における危機の不具合	R5.3.31
引佐	19	鳥獣害が多くなってきた(シカ)	R5.3.31
引佐	19	食料自給率の面からも優良農地を守っていくことは大事だと思う。しかし、引佐は中山間地域で生産性の低い農地が多い	R5.3.31
引佐	19	良い農地は耕作者もいるが、悪い農地は耕作放棄地になっていく。これを防ぐには大規模基盤整備が必要	R5.3.31
引佐	19	基盤整備、鳥獣害対策	R5.3.31
引佐	19	平坦な農地の維持、適切な管理	R5.3.31
引佐	19	農地の基盤整備、再整備(若手の担い手、後継者のために、将来にわたって使いやすい農地を残していく)	R5.3.31
引佐	19	既存の浜名湖北部用水の有効活用	R5.3.31
引佐	19	鳥獣対策、新規就農者、省力化、担い手世代交代、基盤整備	R5.3.31
引佐	19	県外の所有者と話がスムーズにできるように	R5.3.31
引佐	19	耕作放棄地の増、高齢化	R5.3.31
引佐	19	まとまった農地に集積したい、農道整備、水路が欲しい	R5.3.31
引佐	19	残す農地とやめる農地の区分け	R5.3.31
引佐	19	担い手の世代交代をスムーズに行うこと	R5.3.31
引佐	19	担い手として今後も地域農業を担おうとする場合は認定農業者として明確にする。	R5.3.31
引佐	19	地域内や部会組織での土地利用をまず考え、営農しやすくなるよう条件不利地は基盤整備を考えていく	R5.3.31
引佐	19	優良農地を守る、生産性の低い農地が多い、耕作放棄地の増大	R5.3.31
引佐	19	高齢化、まとまった農地が必要→基盤整備、若者に魅力ある農業にしたい、鳥獣害対策、農作業の省力化	R5.3.31
引佐	19	各地区の営農意欲の高い農業関係者の意見を積極的に取り入れることで耕作放棄地を減らす対策をお願いしたい。	R4.3.31
引佐	19	耕作放棄地が増え、改良区の受益地から抜きたい要望が増えている。	R4.3.31
引佐	19	中山間地域で生産性の上まらない農地があり、そういう農地から耕作放棄地が増えてきているがこれを解消するのは無理である。	R4.3.31
引佐	19	生産性が高い農地をいかに守っていくのが大事である。	R4.3.31
引佐	19	担い手も限られている中、定年農業、日曜農業の方に頑張ってもらうしかない。	R4.3.31
引佐	19	周りを見てもこの先5年、10年先には高齢化で耕作できなくなる農地が多くなり、これを担い手がすべて賄うのは無理であり、耕作放棄地の増加は目に見えている。	R4.3.31
引佐	19	耕作放棄というより耕作できる人間が少なくなっている。	R4.3.31
引佐	19	小規模農家との意見交換では、よその大規模農家に地元を好き勝手にされるのは面白くない。誰か一人だけが一人勝ちすることは面白くない。	R4.3.31
引佐	19	農地管理の優先権は、小規模農家→地元の大規模農家→地元外の大規模農家の順であることが望ましい。	R4.3.31
引佐	19	地区毎の話し合いは自治会区単位が望ましい。	R4.3.31
引佐	19	耕作地への農道が無いところが多い	R4.3.31
引佐	19	隣地が耕作放棄地になっている。動物の住み家、被害の拡大になってしまうと心配しているが、諦めている。	R4.3.31
引佐	19	農地を維持していくのに手いっぱい状態である。斜面の為、後継者、借り手が無く、現状が維持できれば良い。借り手が見つかったとしても、返却された後維持できない。	R4.3.31
引佐	19	後継者が少ない。若者	R2.12.21
引佐	19	面積が小さい、水田	R2.12.21
引佐	19	中間地	R2.12.21
引佐	19	お金が儲かる農業に	R2.12.21
引佐	19	引佐地区で30ha	R2.12.21
引佐	19	自治区別の農業状況のマップを作って可視化(もう少し分かりやすいものを)	R2.12.21
引佐	19	営農をやめる予備軍がやめた場合の未来予想図も作って欲しい	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
引佐	19	後継者に未来の経営をどうしたいか考える場を作って欲しい	R2.12.21
引佐	19	零細農家が入ったデータか？	R2.12.21
引佐	19	引佐は小規模農業、良い所を借りたい⇔変な所は嫌	R2.12.21
引佐	19	労働力を課題にしている人が多い。団地集約に関心が高い	R2.12.21
引佐	19	担い手外面積が多い	R2.12.21
引佐	19	畑の拡大希望者が多い事は喜ばしいが、現実には希望農地は優良農地で難しいところがある	R2.12.21
引佐	19	引佐町は中山間地が多く、いい農地が少なく難しい	R2.12.21
引佐	19	効率的営農、労働力が課題→人がいない。斜面が多い	R2.12.21
引佐	19	営農をやめる予備軍がやめた場合の未来予想図(戦略)を作って欲しい	R2.12.21
引佐	19	悪い所が残っている	R2.12.21
引佐	19	大規模水田の開墾	R2.12.21
引佐	19	担い手耕作地 田7%、畑13% まだ低い	R2.12.21
引佐	19	露地果樹営農が多い	R2.12.21
引佐	19	労働力を課題に上げている農家が多い	R2.12.21
引佐	19	耕作地集約に関心が高い	R2.12.21
引佐	19	後継者課題18名⇔後継者いる92%	R2.12.21
引佐	19	担い手以外の耕作面積が多い。放棄地が少ない？	R2.12.21
引佐	19	効率的営農・労働力が課題→人がいない？斜面が多いから？	R2.12.21
引佐	19	畑の拡大希望農家が多い。(水田より)	R2.12.21
引佐	19	もう少し目で見て分かりやすい地図が必要	R2.12.21
引佐	19	69才以下で70才以上の後継者がいる→本当？69才以下で後継者がいない人もいる	R2.12.21
引佐	19	貸したいと出てくる畑は条件が悪い→荒れる。斜面、面積が小さい	R2.12.21
引佐	19	小さな水田→あぜを取って、大きな1枚にすれば拡大しやすい	R2.12.21
引佐	19	生かす農地、手を入れて生かす農地、山に戻す農地	R2.12.21
引佐	19	斜面でも効率よく作業できる農地づくり	R2.12.21
引佐	19	畑の場合は条件が悪い農地がでてくる(残る)	R2.12.21
引佐	19	基盤整備(投資)が必要	R2.12.21
引佐	19	農地戦略が大事	R2.12.21
引佐	19	後継者不足はもっとあるはず	R2.12.21
引佐	19	優良農地を守っていく	R2.12.21
引佐	19	リタイア予定農地の発掘	R2.12.21
引佐	19	借りた農地へ車で入れない場所が多い。農道の整備を行ってほしい。	R3.1.8
引佐	19	規模拡大したいが拡大、集積が進まない。	R3.1.8
引佐	19	保有しているほ場の筆数が多く管理しにくいのでまとめることができないか。	R3.1.8
引佐	19	鳥獣被害への防護、救済体制が必要	R3.1.8
引佐	19	高齢化により不足する作業労働力の補助体制が必要	R3.1.8
引佐	19	気候などにより出荷基準を下回る作物の救済体制が必要	R3.1.8
引佐	19	高温・水不足による収量減少、長雨、ヒョウによる病気被害などの品質低下対策が必要	R3.1.8
引佐	19	小規模経営、B級作物の販売、現金化体制が必要	R3.1.8
引佐	19	高収益作物として飲食店向けに販売できる葉物野菜や果物を少量多品種にて栽培していきたいと考えている。既存施設を利用してハウスでの栽培をしたい。支援いただければ助かります。	R3.1.25
引佐	19	現在は70歳代1名、80歳代2名で耕作しているが、収支が厳しい。若手を入れて多くの野菜などを栽培したいと考えている。	R3.1.25
引佐	19	中山間地域で高齢者となってきた今、畔の管理に困るようになってきた。	R3.1.25
引佐	19	水田、果樹と耕作放棄地が場所の悪いところから少しずつ増えている。	R3.1.25
引佐	19	空き家、耕作放棄地が増加している。	R3.1.25

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
引佐	19	除草剤の多用、防草シート、ひも状草刈り機の使用により法面の弱体化、土壌流出、落石等が多く見られる。	R3.1.25
引佐	19	林地の作業道開設により、大雨の時の土砂流出など、水害に及ぶ危険性がある。	R3.1.25
引佐	19	10年後の木下予想図を作つてほしい。【実地者】農委委員云、認定地、有力農業者【行政単位】自治体単位【内容】農地を区分ごとに着色(10年後荒廃するエリアは赤、耕作できるエリアは青色、基盤整備等、環境を変えれば耕作可能なエリアは黄色)	R3.1.25
引佐	19	現況の町単位の1枚地図を見てもよくわからない。農家は自分の知らない地域の耕作、荒廃状況はよくわからない。	R3.1.25
引佐	19	地元農業者が抱えている木下予想を地図に落としこめて見ると、後継者に渡りところが非常に重要だと感じます。やる気のある後継者は、その未来予想図を基に、大規模基盤整備等の構想を考えることに活用する。構想を立てられる後継者に支援をします。	R3.1.25
引佐	19	未来予想図ができれば、後継者にその情報を公開し、構想を立てられる後継者を募集してほしい。構想を立てた後継者には支援チームを派遣してほしい。	R3.1.25
引佐	19	集落経営のやり方を学ぶ機会を作り、今後の経営体制に選択の自由を与えてほしい。現状は法人化か家族経営かの二択になっている。ここに集落営農という選択肢を追加して、地域の実情にあった経営体制を選べる機会が必要。	R3.1.25
引佐	19	集落経営を行う場合、チームビルディングの勉強が必要になる。理念共有やビジョン共有、心的安全性等の指導の機会も必要となると思います。	R3.1.25
引佐	19	単位面積の少ない優良園地で、高齢化や担い手不足により将来耕作放棄地になりえる農地の集積をしたい。	R3.1.25
引佐	19	後継者がいる割合が高いのは意外だった。	R3.1.25
引佐	19	担い手以外の農地も多く、高齢化により施設などに入居しているなど知らないうちに条件がよい農地でもそのまま放置されている。高齢者が元気なうちに農地を貸してもらえるように話をしたいがなかなか言えない場合が多い。	R3.1.25
引佐	19	リタイアされる前に管理できる人にスムーズにバトンを渡せる仕組みがあれば荒れる前に借りられると思う。	R3.1.25
引佐	19	リタイアする際、農地と同時に農機なども貸し出されるような流れができてくれればありがたい。	R3.1.25
引佐	19	田舎になればなるほど他人に貸し出すことを嫌がる人もいて貸したい農地はなかなか出てこないように思う。	R3.1.25
引佐	19	担い手以外でも管理ができなくなり荒れる前にスムーズに貸し出すのが理想だと思ってもらえるような流れを作りたい。	R3.1.25